2章 化学変化とエネルギー

(10 / 27)

第1節 化学変化と熱エネルギーの関係を調べよう (p66 ~ 67) (本時 3 / 3)

探究プロセス	学習活動	支援(学校)	支援(ITV)
1 課題意識	本時の課題を確かめる。 化学変化と熱エネルギーの関係を調べよう。	前時までの学習を振り返る。	
2 まとめ	化学変化によって熱エネルギーなどをとり出せることから、物質はエネルギーをもっており、これを化学エネルギーということを説明する。	化学エネルギーをもっているかどうかは、化学変化によって、運動、電気、光、熱、音などを生じるかどうかで判断させる。	
3 話し合い	「確かめの問題」を行う。	日常生活の中で、化学エネルギーが熱エネルギーに変換されている例について話し合う。 燃料とは、化学エネルギーから他のエネルギーをとり出すための物質であることに気付かせる。	日常生活と結び付けて、化学エネルギーやその利用について、説明できる。 【知識・理解】
4 考える ~次時 に向けて~	電池の用途や構造などを考える。 電池の中では、何が起きているかについて話し合う。	次時の学習への見通しをもたせる。 図6を参考にして、電池から電気エネルギーを取り出すときに、電池の内部で何が起きているか自分の意見を発表させる。	電池の構造や、電池の内部で起こることについて、興味・関心をもつ。 【関心・意欲・態度】
5 見通し ~予想・仮説	実験4について予想・仮説を立てる。	個別に予想や仮説、課題に対する考えなどをかかせる。	

(支援形態 対話 A:対人, 対話 B:対グループ, 対話 C:フリー)